

2014.12.1第1155号
ISSN 0913-0217

発行人/長瀬 清
発行所/北海道医師会
〒060-8627
札幌市中央区大通西6丁目
TEL(011)231-1432
FAX(011)221-5070

北海道医報

2014
12
月号



北海道 美の遺産

桂川 寛

Globalscape

北海道立近代美術館 所蔵

CONTENTS

北海道医報
平成26年12月1日 第1155号

指標／「電気料金再値上げに関する影響度調査」の分析……………	藤原 秀俊……………	3
医の倫理綱領……………		6
報告／北海道医師会創立67周年記念行事を開催！……………		7
郡市医師会だより／札幌市医師会 市民対話集会2014……………	松村 茂樹……………	8
郡市医師会だより／渡島医師会主催「文化講演会」について……………	宮村 拓郎……………	10
日医報告／大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 －よりよい男女共同参画を目指して－……………	藤井 美穂……………	12
日医報告／平成26年度第1回「2020.30」推進懇話会……………	藤井 美穂……………	16
報告／地域医療に関わる地域別意見交換会 小樽市・富良野市……………	伊藤 利道……………	18
報告／自民党道連団体政策懇談会……………	笹本 洋一……………	20
報告／北海道医師硬式テニス大会 報告……………	八木 知徳……………	22
最新・医事紛争Q & A／カルテの訂正……………	黒木 俊郎、武市 尚子……………	24
税務相談室／医業の収入金額……………	中村 孝一……………	26
会員のひろば……………	勝田 貴子、今泉 寛子、大黒 幾代、胡 青余、松井英一郎 清水 恵子、下田久美子、藤井 義博、高川 志保、瀬野尾智哉、祢津 宏昭……………	28
ポラリスを仰ぐ北の大地から……………	赤川 清介、寶金 清博……………	36
大通公園を望む窓辺から……………	水谷 匡宏、沖 一郎……………	37
医学会・医学講演会等 開催情報……………		38
中央38 道南39 後志40 日胆40 空知40 道北40 北見41		
その他開催情報……………		42
日医認定産業医制度研修会開催一覧……………		42
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧……………		43
会議室／第5回理事会、第15・16回常任理事会……………		44
道医の動き……………		50
訃報……………		51
新規指定医療機関……………		52
売貸医院・医師招聘情報……………		53
季節風／准看護師の役割……………	藤井 美穂……………	62

お知らせ

平成26年秋の叙勲・褒章受章者⑨／日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』について⑪
第20回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会のご案内⑬
電子メールアドレス発行申し込みのご案内⑰／－生命保険「団体扱い」のお奨め－⑳
平成26年度医療施設整備・機能強化セミナーの開催について㉓
女性医師等支援事業を推進しています。㉓／研修会等への託児サービス併設費用の助成④
エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における対応について④
北海道衛生検査所精度管理事業について⑤
「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について⑤
北海道医報へのご投稿等⑥／第29回日本医学会総会2015関西 事前登録締切せまる!!⑥
グループ保険のご案内⑥

北海道医師会会員数	8,267名 (+8)	うち日本医師会会員数	5,864名 (+2)		
A	2,503名 (+5)	B2	4,533名 (±0)	C2	156名 (+1)
B1	600名 (-2)	C1	113名 (+1)	C3	362名 (+3)

平成26年10月31日現在 () 内前月比

作品紹介

かつらがわ ひろし

桂川 寛 Globalscape

1924(大正13)年～2011(平成23)年

札幌市生まれ。

1984(昭和59)年の作品。油彩・キャンバス(161.8×130.3cm)。

1937年、札幌商業学校に入学。美術部に入り、最年少で道展入選を果たす。

敗戦から3年後、多摩美術専門学校に入学するが、アバンギャルド芸術集団「世紀」に参加し、学校を中退。「世紀」で出会った阿部公房らと、混沌とした戦後の芸術状況を論

北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館
(札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881)

じつつ、小冊子や画集の共同制作に打ち込んだ。

1950年代に入ると、山村の景観や生活を記録し、下山してから書き上げるルポルタージュの連作を出品。過酷なダム建設工事で負傷した飯場労働者を描いた『小河内村』など、後にルポルタージュ絵画と呼ばれる運動の端緒になった。

1960年代半ば以降は、無所属として個展を中心に作品を発表。『壁の中の家族』など、家族風景も描いている。

深い海の底から連なる泡は、生命の果てしない連鎖を思わせる。祖先をさかのぼり、はるか彼方の記憶に触れているような不思議な感覚に落ち入る。